

同種施設比較分析表(市民センター)

1 各施設の情報

基本情報	施設名称	忠生※1	鶴川※1	南	なるせ駅前	堺※1	小山
	該当ページ	310	312	316	318	320	322
	建設年月日	2015年2月27日	1985年10月15日	1987年2月2日	1996年3月19日	1983年3月1日	1995年1月25日
	有形固定資産減価償却率	41.6%	63.1%	76.6%	58.3%	58.2%	61.4%

行政費用(千円)	人件費	88,107	118,359	84,072	91,934	79,903	82,216
	物件費	35,402	21,194	23,998	24,671	21,454	27,726
	うち委託料	27,343	14,869	13,862	17,112	13,446	15,797
	うち光熱水費	5,479	4,783	6,732	5,773	4,206	9,436
	維持補修費	4,262	660	0	6,985	1,652	205
	補助費等	0	0	0	0	0	0
	減価償却費	34,693	28,362	15,358	18,952	29,792	36,278
	賞与・退職手当引当金繰入額	17,963	13,590	23,553	13,904	12,993	14,357
	行政費用合計	180,427	182,165	146,981	156,446	145,794	160,782

単位あたりコスト分析	延床面積(㎡)	3,056	2,087	2,117	2,077	2,074	2,705
	1㎡あたりコスト(円)	59,040	87,286	69,429	75,323	70,296	59,439
	取扱総件数(件)※2	63,890	92,536	56,520	67,751	25,357	52,455
	取扱件数1件あたりコスト(円)	1,737	1,358	1,742	1,580	3,710	1,406
	利用総人数(人)※3	126,248	84,880	38,116	86,215	17,132	44,074
	利用者1人あたりコスト(円)	550	666	1,273	573	3,019	1,974
	開館日数(日)	357	357	328	356	289	336
	開館1日あたりコスト(円)	505,398	510,266	448,113	439,455	504,478	478,518

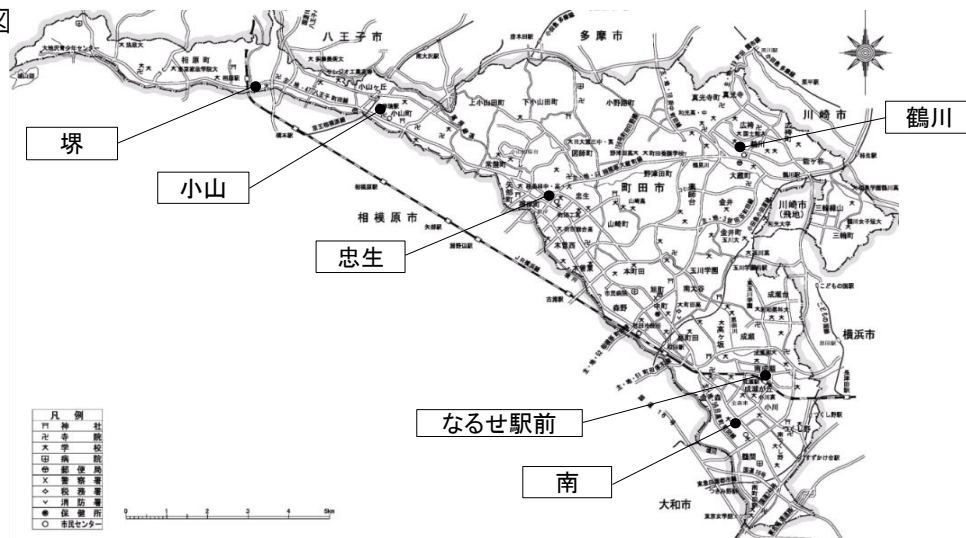
※1 複合施設については減価償却費を面積按分して算出しています。

	忠生	鶴川	堺
建物減価償却費(千円)	53,209	35,469	41,125
複合施設全体面積(㎡)	4,687	2,610	2,863
市民センター面積(㎡)	3,056	2,087	2,074
按分減価償却費(千円)	34,693	28,362	29,792

※2 証明書交付、各種申請受付等の行政窓口総取扱件数

※3 ホール・会議室等の施設利用総人数(施設貸出休止期間を除く)

2 施設配置図



3 2024年度決算で掲げた施設マネジメント改善のための取り組み

・マイナンバーによる情報連携やコンビニ交付の普及により、行政窓口での証明書発行件数は中長期的に減少していく傾向にあります。業務の効率化を図り、市民の利便性を維持しつつ行政費用を抑えていくよう取り組みます。

・施設をより多くの方にご利用いただけるよう、事前予約等の手続き不要で誰でも自由に利用できる「地域開放」や夜間学割制度などについて周知に努めるとともに、利用しやすい環境整備を促進します。

・施設の維持管理業務を一元化することで、スケールメリットによる委託費の削減と、同一業務の契約統合による効率化を図ります。

・建物をより長く安全に利用できるよう、計画的な維持・補修に努めます。

4 事業の成果の年次推移

各施設利用人数

(単位:人)

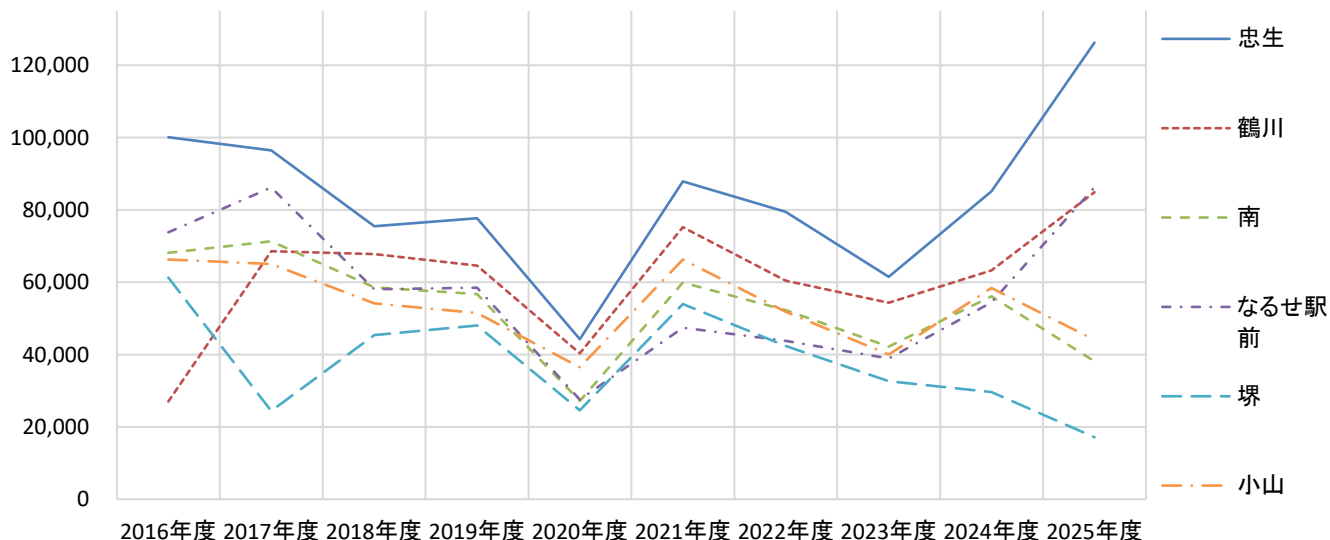
施設名称	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	計
忠生	100,125	96,483	75,437	77,678	44,244	87,870	79,502	61,536	85,139	126,248	834,262
鶴川	27,031	68,575	67,800	64,608	40,297	75,217	60,445	54,349	63,285	84,880	606,487
南	68,162	71,324	58,560	56,754	27,164	59,868	52,307	42,207	56,077	38,116	530,539
なるせ駅前	73,834	86,199	58,080	58,482	27,543	47,385	43,809	38,920	54,415	86,215	574,882
堺	61,280	24,420	45,358	48,061	24,585	53,960	42,337	32,625	29,668	17,132	379,426
小山	66,267	65,044	54,165	51,522	36,480	66,271	51,840	40,013	58,377	44,074	534,053
計	396,699	412,045	359,400	357,105	200,313	390,571	330,240	269,650	346,961	396,665	3,459,649

対前年度比率

(単位:%)

施設名称	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
忠生	—	96.4%	78.2%	103.0%	57.0%	198.6%	90.5%	77.4%	138.4%	148.3%
鶴川	—	253.7%	98.9%	95.3%	62.4%	186.7%	80.4%	89.9%	116.4%	134.1%
南	—	104.6%	82.1%	96.9%	47.9%	220.4%	87.4%	80.7%	132.9%	68.0%
なるせ駅前	—	116.7%	67.4%	100.7%	47.1%	172.0%	92.5%	88.8%	139.8%	158.4%
堺	—	39.8%	185.7%	106.0%	51.2%	219.5%	78.5%	77.1%	90.9%	57.7%
小山	—	98.2%	83.3%	95.1%	70.8%	181.7%	78.2%	77.2%	145.9%	75.5%

(人)



5 事業の成果の年次推移の分析

①推移の状況と要因

・改修工事に伴い施設貸出を休止していた期間があったため、南市民センター、小山市民センターは2025年度、堺市民センターは2017年度、2024年度、2025年度に施設利用人数が大きく減少しています。

・新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度の利用者数が大きく減少しています。なるせ駅前市民センター以外は、2021年度から2023年度まで新型コロナウイルスワクチン接種会場であったことから、2021年度の施設利用人数が特に増加しています。

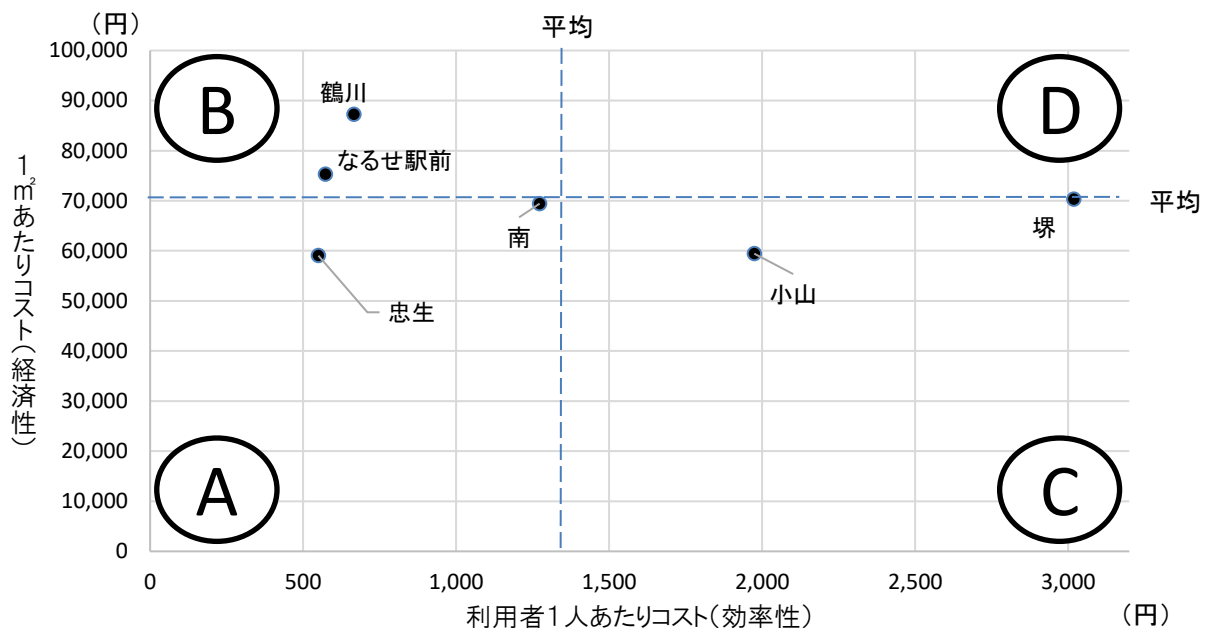
・2025年度は、施設利用に関する周知やWi-Fiルーターの無料貸出など利用しやすい環境整備を継続した結果、改修工事に伴う施設貸出休止期間のあったセンターを除き、全てのセンターで利用人数が増加しました。

②①を踏まえた今後の取り組み

・より多くの方にご利用いただけるよう、施設の利用方法等についての周知に努めます。

・施設を安全で快適に利用できるよう、計画的な修繕を行います。

6 効率性・経済性を軸にした分析グラフ



7 分析欄

①人件費の特徴について

行政費用は、人件費が最も大きな割合を占めています。行政窓口の業務量に応じて、職員を配置しています。Bの特徴：鶴川市民センターは行政窓口取扱件数が多く、職員の配置人数が最も多いため、1㎡あたりコストが高くなっています。

②施設の特徴について

全体の特徴：建て替えや改修により省エネルギー機器を導入した忠生市民センター、施設貸出を9か月休止していた堺市民センターは他施設と比べて1㎡あたりの光熱水費の割合が低くなっています。Cの特徴：改修工事により、堺市民センターは2024年11月から2025年12月まで施設貸出を休止したため、小山市民センターは2026年1月から3月まで施設貸出を休止したため、利用総人数が少なく、利用者1人あたりコストが高くなっています。

③行政窓口取扱総件数の特徴について

マイナンバーによる情報連携により証明書不要の手続きが増えたことや、コンビニ交付の普及により、行政窓口での証明書発行件数は減少傾向にあります。一方で、マイナンバーカード更新対象者の増加により、取扱総件数は増加しています。

④施設利用率の特徴について 施設利用率は、午前・午後に比べて夜間の時間帯が低くなっています。

8 施設マネジメント改善のための今後の取り組み

・マイナンバーによる情報連携やコンビニ交付の普及により、行政窓口での証明書発行件数は中長期的に減少していく傾向にあります。業務の効率化を図り、市民の利便性を維持しつつ行政費用を抑えていくよう取り組みます。

・利用の少ない時間帯の施設利用率を向上させるため、SNSなどを活用した周知を行うなど、多様な手段を用いて情報発信を行っていきます。

・2025年度から始めた施設維持管理業務等の一元化を更に進め、スケールメリットによる費用削減や業務の効率化を目指します。

・建物をより長く安全に利用できるよう、計画的な維持・補修に努めます。

同種施設比較分析表(コミュニティセンター)

1 各施設の情報

基本情報	施設名称	成瀬	木曽森野※1	三輪※2	つくし野
建設年月日		1987年12月16日 2016年5月20日	-	2002年3月28日	1982年8月1日
有形固定資産減価償却率		56.1%	-	49.1%	72.2%

行政費用(千円)	人件費	5,981	5,975	6,144	6,418
	物件費	28,201	16,913	22,788	16,451
	うち委託料	19,202	11,492	13,890	12,250
	うち光熱水費	8,033	4,591	8,093	3,570
	維持補修費	636	1,090	933	1,146
	補助費等	0	0	0	0
	減価償却費	62,302		4,951	11,545
	賞与・退職手当引当金繰入額	544	539	396	537
	行政費用合計	97,664	24,517	35,212	36,097

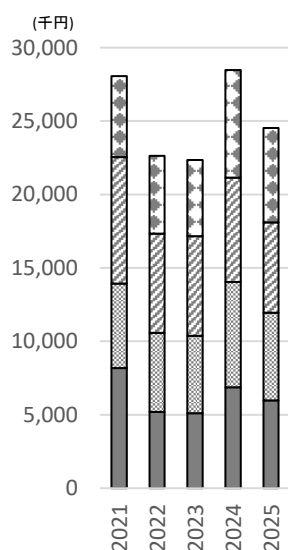
有形固定資産	取得価格	1,291,392		315,996	277,633
	減価償却累計額	△ 723,861		△ 155,035	△ 200,466
	本年度末残高	567,531	0	160,961	77,167

単位あたりコスト分析	延床面積(㎡)	1,850	1,000	1,190	1,003
	1㎡あたりコスト(円)	52,791	24,517	29,590	35,989
	利用総人数(人)	60,288	38,417	27,078	45,110
	利用者1人あたりコスト(円)	1,620	638	1,300	800
	開館日数(日)	347	347	347	347
	開館1日あたりコスト(円)	281,452	70,654	101,476	104,026

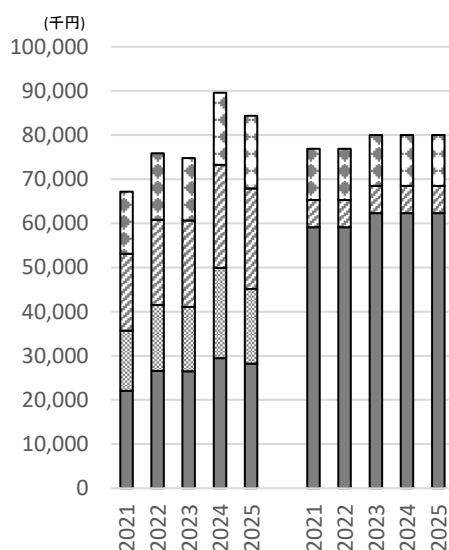
※1 東京都から無償で借りて運営している木曽森野については、減価償却費を計上していません。

※2 複合施設については減価償却費を面積按分して算出しています。

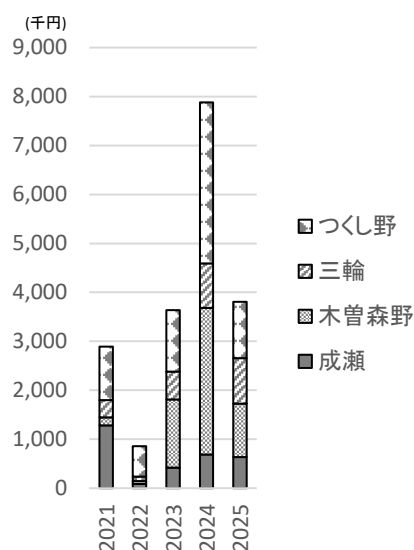
施設名称	三輪
建物・工作物減価償却費(千円)	6,191
複合施設全体面積(㎡)	1,488
コミュニティセンター面積(㎡)	1,190
按分減価償却費(千円)	4,951



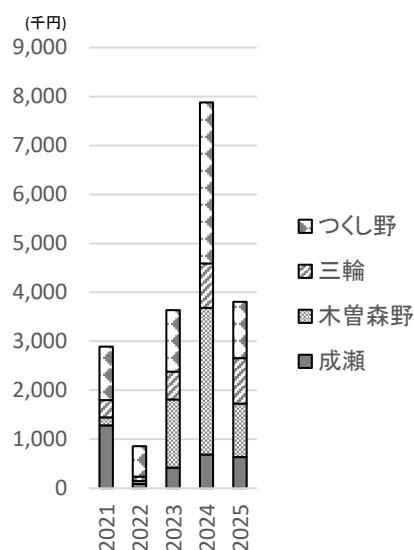
人件費



物件費

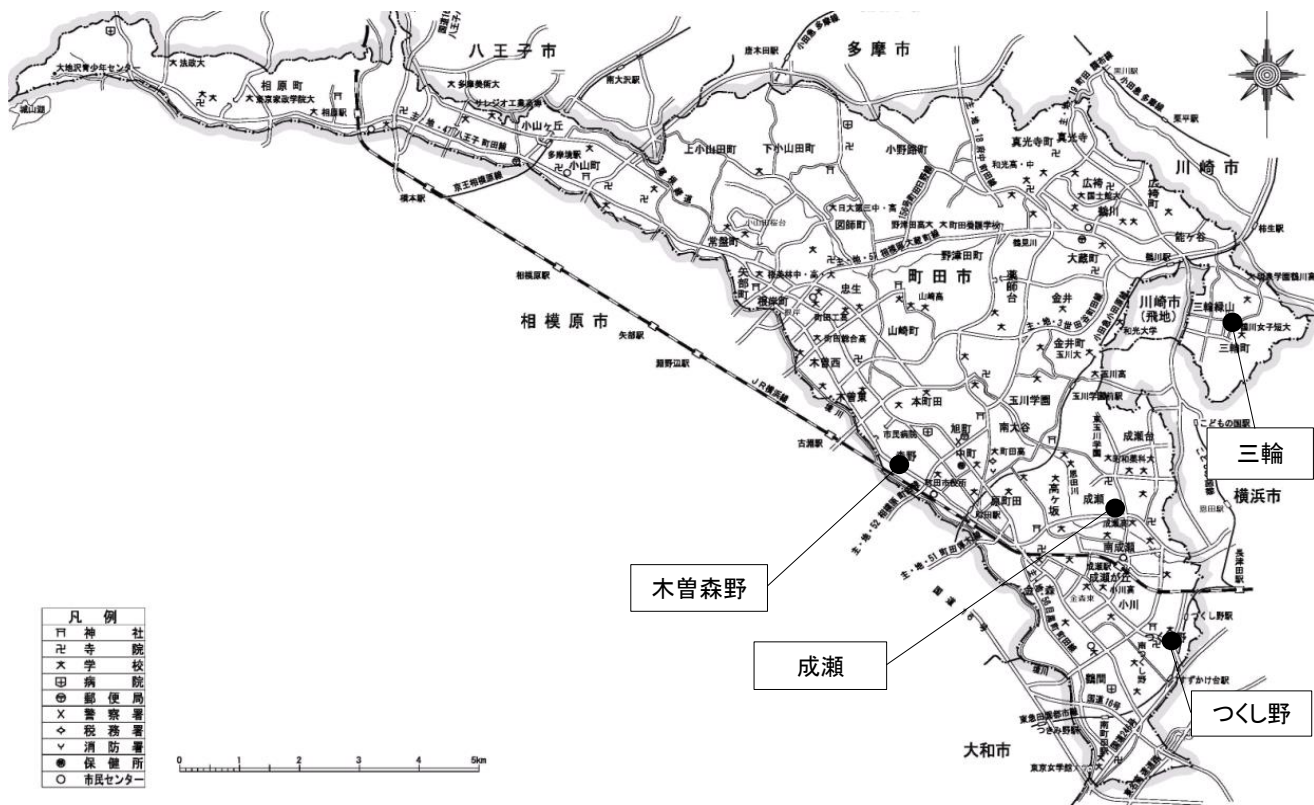


減価償却費



維持補修費

2 施設配置図



3 2024年度決算で掲げた施設マネジメント改善のための取り組み

短期的な取り組み(1～2年)	中長期的な取り組み(3～5年)
・より多くの方にご利用いただけるよう、施設の利用方法等についての周知に努めます。 ・施設の設備について、関係部署との調整を図り、修繕を行います。 ・成瀬コミュニティセンターでは、同一敷地内に建設している子どもクラブが2026年3月に開所予定のため、多世代が安心して気持ちよく利用できるよう施設間での運用調整等を行います。 ・三輪コミュニティセンターでは、文化祭の再開に向けて、支援を行います。	・施設を安心して快適に使用できるよう、計画的な修繕を行います。 ・効率・効果的な施設管理を実現するために、施設の維持管理業務の一元化を行います。

4 2025年度の取り組み状況

- ・貸出施設の利用率向上を図るため、町田市民間提案制度を活用して「市民センター・コミュニティセンターの夜間諸室の利活用」をテーマに、利用率が特に低い夜間時間帯における施設の活用方法について提案を募集しました。
- ・若年層の施設利用増加を目指し、2024年度利用率が低かった木曽森野コミュニティセンターと三輪コミュニティセンターについて、近隣の保育園・幼稚園、学校に利用方法に関するチラシを配布しました。
- ・各施設における消防設備保守点検や、施設定期点検等の業務委託の仕様を統一し、一括契約を行いました。その結果、委託料が2024年度比約7.8%削減できたほか、管理業務の効率化につながりました。
- ・消防設備等について修繕を実施し、施設の適切な維持管理に努めました。
- ・成瀬コミュニティセンターでは、同一敷地内にある子どもクラブの指定管理者と運営委員会において意見交換を行える体制を構築しました。これにより、双方の施設の良い部分を活用し合えるよう連携を図っています。
- ・三輪コミュニティセンターでは、文化祭が6年ぶりに開催され、補助金交付や施設物品貸出等の支援を行いました。

5 事業の成果の年次推移

施設利用率

(単位: %)

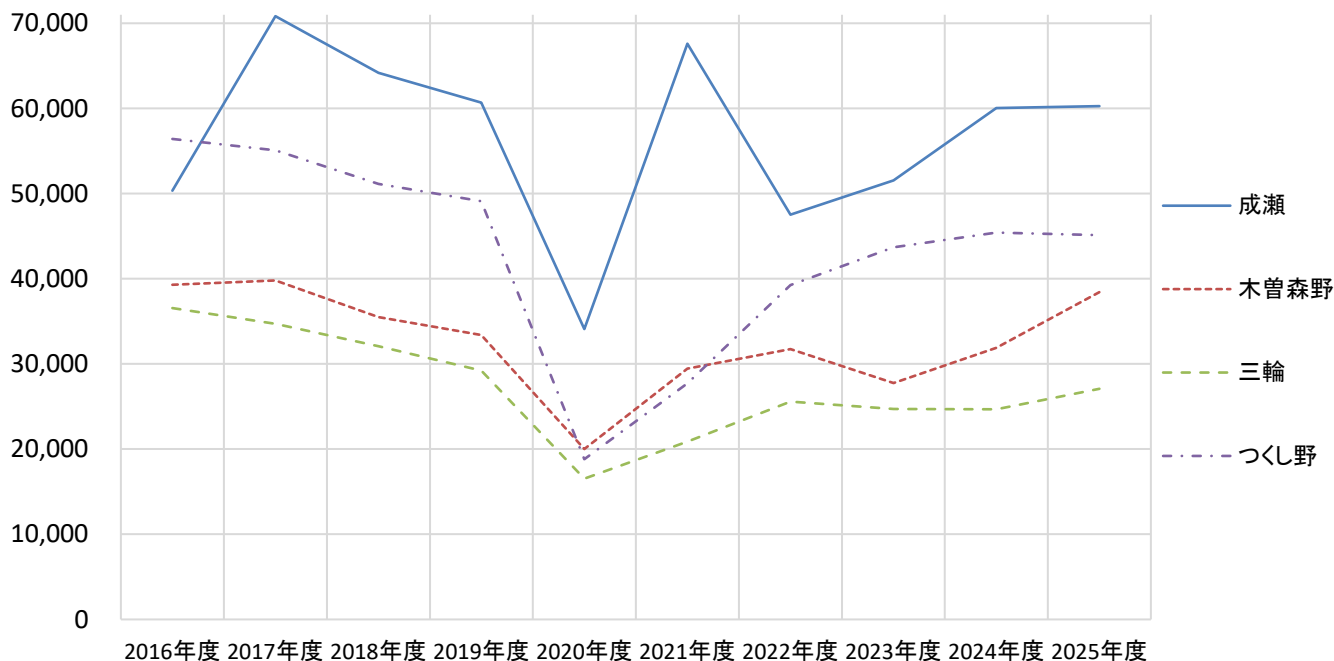
施設名称	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
成瀬	65.6%	60.1%	60.6%	61.2%	65.8%
木曽森野	56.7%	58.8%	54.3%	56.7%	70.4%
三輪	41.6%	44.7%	43.3%	41.7%	45.2%
つくし野	58.4%	69.9%	69.1%	68.1%	71.0%

【参考】各施設利用者数

(単位: 人)

施設名称	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	計
成瀬	50,364	70,834	64,195	60,675	34,100	67,595	47,540	51,547	60,063	60,288	567,201
木曽森野	39,300	39,800	35,493	33,392	20,010	29,440	31,750	27,755	31,876	38,417	327,233
三輪	36,557	34,718	32,079	29,227	16,530	20,876	25,557	24,701	24,678	27,078	272,001
つくし野	56,418	55,091	51,122	49,106	18,812	27,709	39,262	43,689	45,416	45,110	431,735
計	182,639	200,443	182,889	172,400	89,452	145,620	144,109	147,692	162,033	170,893	1,598,170

(人)



6 事業の成果の年次推移の分析

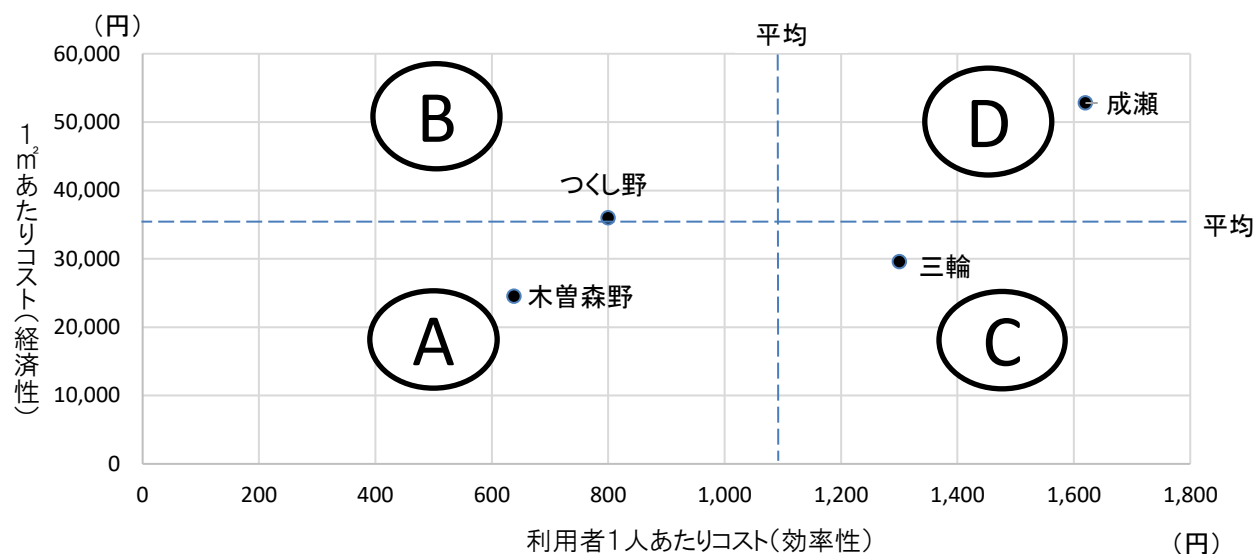
①推移の状況と要因

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、全ての施設で2020年度の利用人数が大きく減少していますが、2025年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前とほぼ同水準になりました。成瀬コミュニティセンターは、新型コロナウイルスワクチン接種会場であったことから、2021年度の利用人数が特に増加しています。
- ・木曽森野コミュニティセンターは、近隣にある木曽山崎コミュニティセンターが改修工事により施設貸出を休止している影響で、利用者が増加していると考えられます。

②①を踏まえた今後の取り組み

- ・より多くの方にご利用いただけるよう、施設の利用方法等について、周知に努めます。
- ・施設を安全で快適に利用できるよう、計画的な修繕を行います。

7 効率性・経済性を軸にした分析グラフ



8 分析欄

①施設規模の特徴について

Aの特徴: 木曽森野コミュニティセンターは、東京都が建物を所有しているため、減価償却費はありません。そのため、1㎡あたりのコストや開館1日あたりコストが最も低くなっています。

Dの特徴: 成瀬コミュニティセンターは、施設規模が大きく、物件費及び減価償却費が高いため、1㎡あたりコスト、利用者1人あたりコストが最も高くなっています。

②利用者総数の特徴について

Bの特徴: つくし野コミュニティセンターは駅前に立地していることから、利用者総数が多くなっており、利用者1人あたりコストは低くなっています。

Cの特徴: 三輪コミュニティセンターは駅から遠方のため、他のコミュニティセンターと比べて利用者総数が少なく、利用者1人あたりコストは高くなっています。

9 分析を踏まえた事業の課題

- ・利用者総数が少ない三輪コミュニティセンターにおいて、引き続き、近隣の保育園・幼稚園、学校等に利用方法のチラシを配布するなど、利用率向上を図る必要があります。
- ・施設を利用できる時間帯(午前、午後、夜間)のうち、夜間時間帯(午後5時30分から午後10時まで)の利用率は50%未満となっています。そのため、夜間時間帯の利用率向上を図る必要があります。
- ・経年による老朽化が進んでいるため、計画的な施設の維持管理が求められます。

10 施設マネジメント改善のための今後の取り組み

短期的な取り組み(1～2年)	中長期的な取り組み(3～5年)
・より多くの方にご利用いただけるよう、利用方法の周知や、夜間学割制度等について情報発信に努めます。 ・計画的に施設の修繕を行い、利用しやすい環境整備を促進します。	・施設をより長く安全で快適に使用できるよう、関係部署と調整を図り、計画的な維持・補修に努めます。

同種施設比較分析表(連絡所)

1 各施設の情報

基本情報	施設名称	町田駅前※1	鶴川駅前※2	木曽山崎※2	玉川学園駅前
該当ページ		304	314	306	308
建設年月日		1998年4月7日	2012年9月29日	1982年8月17日	2021年4月9日
有形固定資産減価償却率		-	-	54.2%	11.6%

行政費用（千円）	人件費	57,368	38,478	32,517	22,675
	物件費	18,047	1,540	17,014	23,796
	うち委託料	44	981	11,736	18,048
	うち光熱水費	641	208	3,266	4,506
	維持補修費	0	0	132	229
	補助費等	0	0	0	0
	減価償却費		978	11,944	31,932
	賞与・退職手当引当金繰入額	9,483	6,560	5,952	1,602
行政費用合計		84,898	47,556	67,559	80,234

単位あたりコスト分析	延床面積(㎡)	109	67	1,611	1,715
	1㎡あたりコスト(円)	778,881	709,786	41,936	46,784
	取扱総件数(件)※3	36,258	18,671	8,274	20,056
	取扱件数1件あたりコスト(円)	2,341	2,547	4,296	1,240
	利用総人数(人)※4	-	-	-	74,147
	利用者1人あたりコスト(円)	-	-	-	747
	開館日数(日)	342	322	242	357
	開館1日あたりコスト(円)	248,240	147,688	279,169	224,745

※1 町田駅前は、賃貸建物のため減価償却費を計上していません。

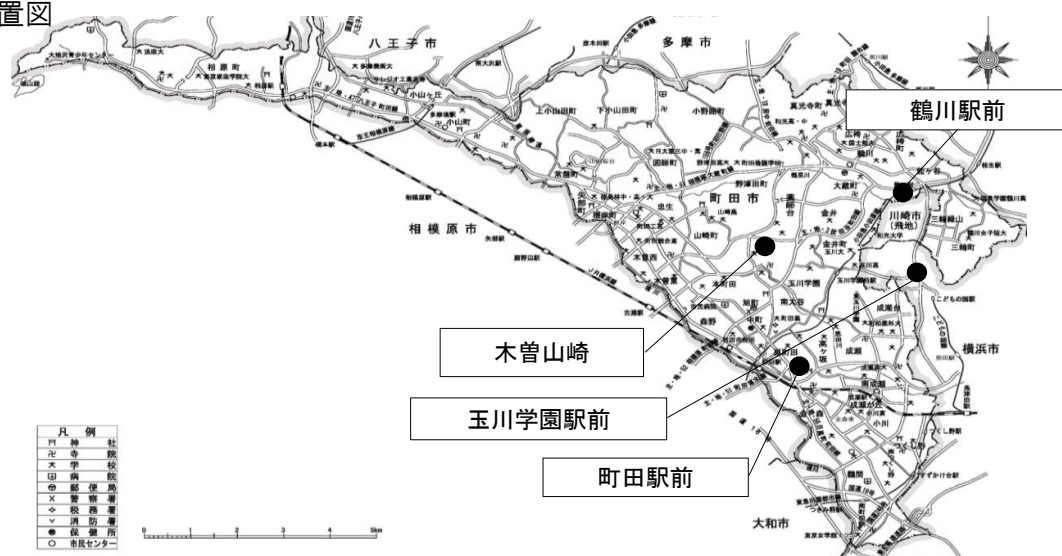
※2 複合施設については減価償却費を面積按分して算出しています。

	鶴川駅前	木曽山崎
建物減価償却費(千円)	87,245	15,607
複合施設全体面積(㎡)	5,979	2,105
連絡所面積(㎡)	67	1,611
按分減価償却費(千円)	978	11,944

※3 証明書発行、各種申請受付等の行政窓口取扱件数

※4 ホール・会議室等の施設利用人数(町田駅前・鶴川駅前は貸出施設なし、木曽山崎は改修工事に伴い貸出休止)

2 施設配置図



3 2024年度決算で掲げた施設マネジメント改善のための取り組み

・マイナンバーによる情報連携やコンビニ交付の増加により、今後は更に証明書の発行件数が減少すると考えられるため、連絡所の役割や効率的な運営方法について検討する必要があります。

・老朽化が進んでいる木曽山崎連絡所は、施設を安全で快適に利用できるよう、引き続き計画的な改修及び維持管理を行います。

4 事業の成果の年次推移

行政窓口取扱件数

(単位:件)

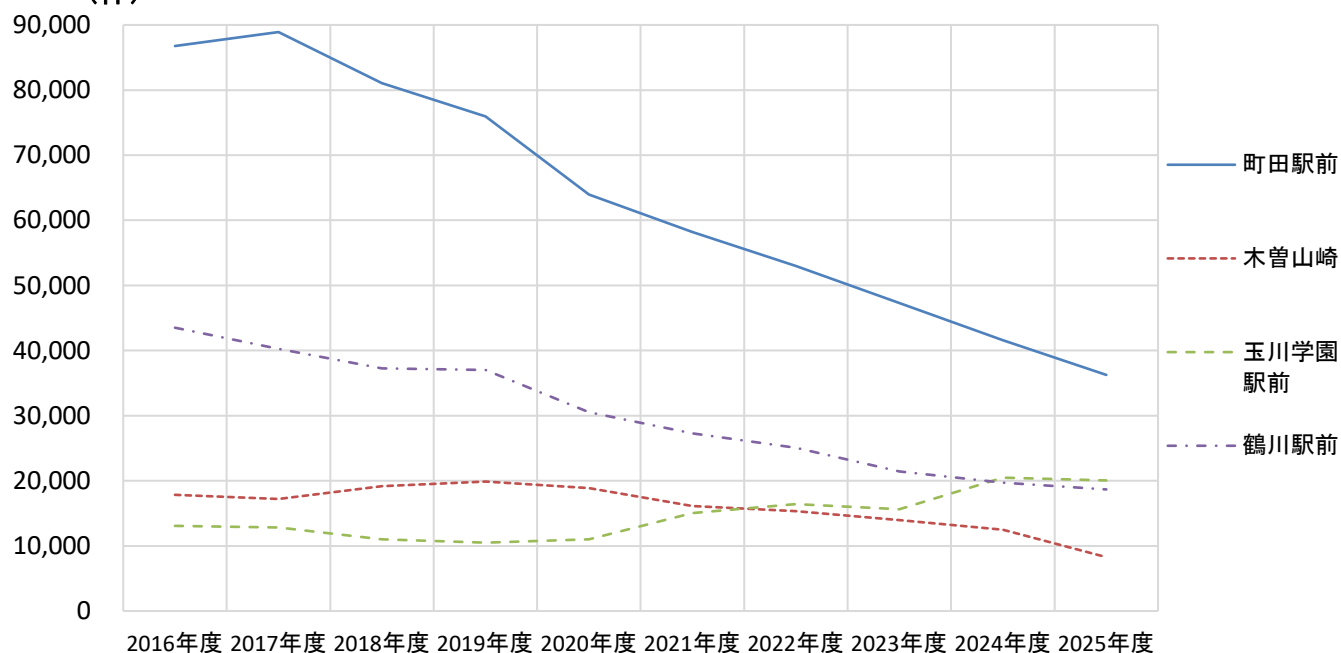
施設名称	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	計
町田駅前	86,743	88,905	81,082	75,968	63,973	58,210	52,982	47,288	41,563	36,258	632,972
鶴川駅前	43,506	40,237	37,282	37,036	30,521	27,259	25,069	21,428	19,686	18,671	300,695
木曽山崎	17,863	17,218	19,155	19,878	18,851	16,117	15,337	13,940	12,461	8,274	159,094
玉川学園駅前	13,081	12,832	11,020	10,498	11,010	15,062	16,419	15,614	20,482	20,056	146,074
計	161,193	159,192	148,539	143,380	124,355	116,648	109,807	98,270	94,192	83,259	1,238,835

対前年度比率

(単位:%)

施設名称	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
町田駅前	-	102.5%	91.2%	93.7%	84.2%	91.0%	91.0%	89.3%	87.9%	87.2%
鶴川駅前	-	92.5%	92.7%	99.3%	82.4%	89.3%	92.0%	85.5%	91.9%	94.8%
木曽山崎	-	96.4%	111.2%	103.8%	94.8%	85.5%	95.2%	90.9%	89.4%	66.4%
玉川学園駅前	-	98.1%	85.9%	95.3%	104.9%	136.8%	109.0%	95.1%	131.2%	97.9%

(件)



5 事業の成果の年次推移の分析

①推移の状況と要因

・マイナンバーによる情報連携により証明書が不要になった手続きが増えたことや、コンビニ交付件数の増加などデジタル化の推進及び木曽山崎連絡所の改修工事の影響により、窓口での証明書発行件数が減少しています。

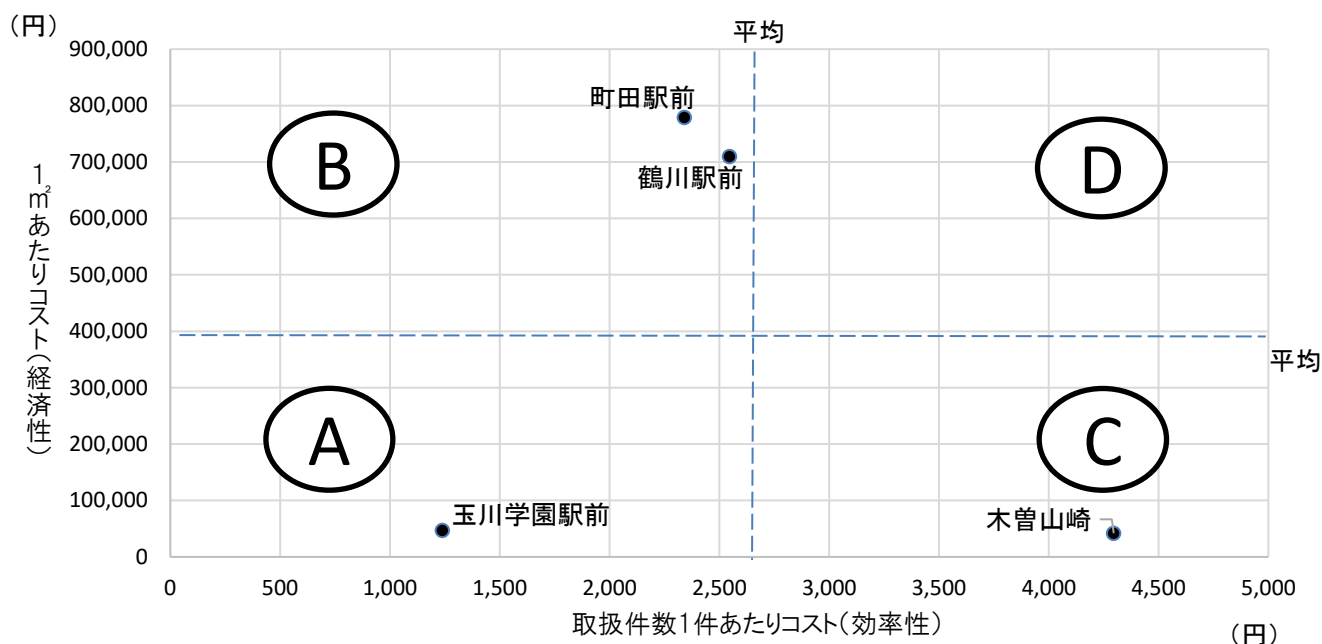
・証明書発行件数は減少傾向ですが、マイナンバーカードの手続き等、様々な問い合わせや相談は引き続き多い件数となっています。

②①を踏まえた今後の取り組み

・行政手続きのデジタル化の進展を踏まえて、連絡所業務全体の効率化に取り組みます。

・今後も様々な問い合わせや相談に適切に対応できるよう、情報収集に努めます。

6 効率性・経済性を軸にした分析グラフ



7 分析欄

①人件費の特徴について

全体の特徴：平日夜間や土日も開所している町田駅前連絡所や鶴川駅前連絡所は、木曽山崎連絡所及び玉川学園駅前連絡所よりも職員の配置が多くなっています。

Bの特徴：町田駅前連絡所は、市内で最も乗降者が多い町田駅前という利便性の高い立地であり、平日の夜間や土日も開所しています。そのため、配置されている人員が他の連絡所に比べて多く、人件費が高くなっていることから、1㎡あたりコストも高くなっています。

②施設規模の特徴について

A・Cの特徴：木曽山崎連絡所及び玉川学園駅前連絡所は、行政窓口業務のほかに施設貸出業務を行っているため、施設規模が大きく1㎡あたりコストは低くなっています。

Bの特徴：町田駅前連絡所と鶴川駅前連絡所は、延床面積が他の施設に比べて狭く、1㎡あたりコストが高くなっています。

③行政窓口取扱件数の特徴について

全体の特徴：マイナンバーによる情報連携により証明書が不要になった手続きが増えたことや、コンビニ交付の増加などデジタル化の推進により、証明書発行件数が減少しています。

Cの特徴：木曽山崎連絡所は駅から遠方であること及び改修工事の影響により、他の連絡所と比べて行政窓口取扱件数が少なく、取扱件数1件あたりコストが高くなっています。

8 施設マネジメント改善のための今後の取り組み

・マイナンバーによる情報連携やコンビニ交付件数の増加に伴い、更に証明書の発行件数が減少すると見込まれるため、連絡所の役割や効率的な運営方法について検討する必要があります。

・施設を安全で快適に利用できるよう、引き続き計画的な改修及び維持管理を行います。

同種施設比較分析表(ふれあい館)

1 各施設の情報

基本情報	施設名称	もみじ館 (金森)	いちよう館 (鶴川)	もっこく館 ^{※1} (町田)	くぬぎ館 ^{※1} (木曽山崎)	けやき館 ^{※1} (堺)	桜館 ^{※2} (小山田)
	建設年月日	1975年2月28日	1978年1月5日	1989年3月22日	1982年10月13日	1983年3月31日	1994年3月17日
	有形固定資産減価償却率	86.2%	74.3%	-	-	-	63.4%
	事業の目的	60歳以上の高齢者が、身近で気軽に趣味・娯楽・学習、および健康の維持・向上や憩いの場として利用できる施設である高齢者福祉センターを管理運営する事業です。					

行政費用(千円)		19,467	19,377	13,900	14,988	15,853	769
	人件費	19,467	19,377	13,900	14,988	15,853	769
	物件費	6,513	8,304	8,407	4,514	3,432	37,429
	うち委託料	4,487	5,850	5,387	2,731	2,243	37,297
	うち光熱水費	1,516	1,741	2,584	766	732	0
	維持補修費	4,862	285	678	40	157	476
	補助費等	166	154	172	48	130	0
	減価償却費	2,422	6,590	4,695	3,659	5,162	15,528
	賞与・退職手当引当金繰入額	2,368	11,478	888	892	450	70
	行政費用合計	35,798	46,188	28,740	24,141	25,184	54,272

有形固定資産		103,778	181,750				1,669,581
	建物取得価格	103,778	181,750				1,669,581
	建物減価償却累計額	△ 89,485	△ 135,009				△ 1,058,592
	本年度末残高	14,293	46,741				610,989

単位あたりコスト分析		581	720	826	493	359	1,074
	延床面積(㎡)	581	720	826	493	359	1,074
	1㎡あたりコスト(円)	61,614	64,150	34,794	48,968	70,151	50,533
	利用者数(人)	19,716	14,127	14,173	27,192	13,847	25,113
	利用者1人あたりコスト(円)	1,816	3,269	2,028	888	1,819	2,161
	開館日数(日)	295	295	293	290	289	295
	開館1日あたりコスト(円)	121,349	156,569	98,089	83,245	87,142	183,973
	介護予防・健康づくりの取組参加人数(人)	31,100	23,326	25,164	48,822	18,238	51,695
	参加人数1人あたりコスト(円)	1,151	1,980	1,142	494	1,381	1,050

※1 複合施設については、減価償却費を面積按分して算出しています。

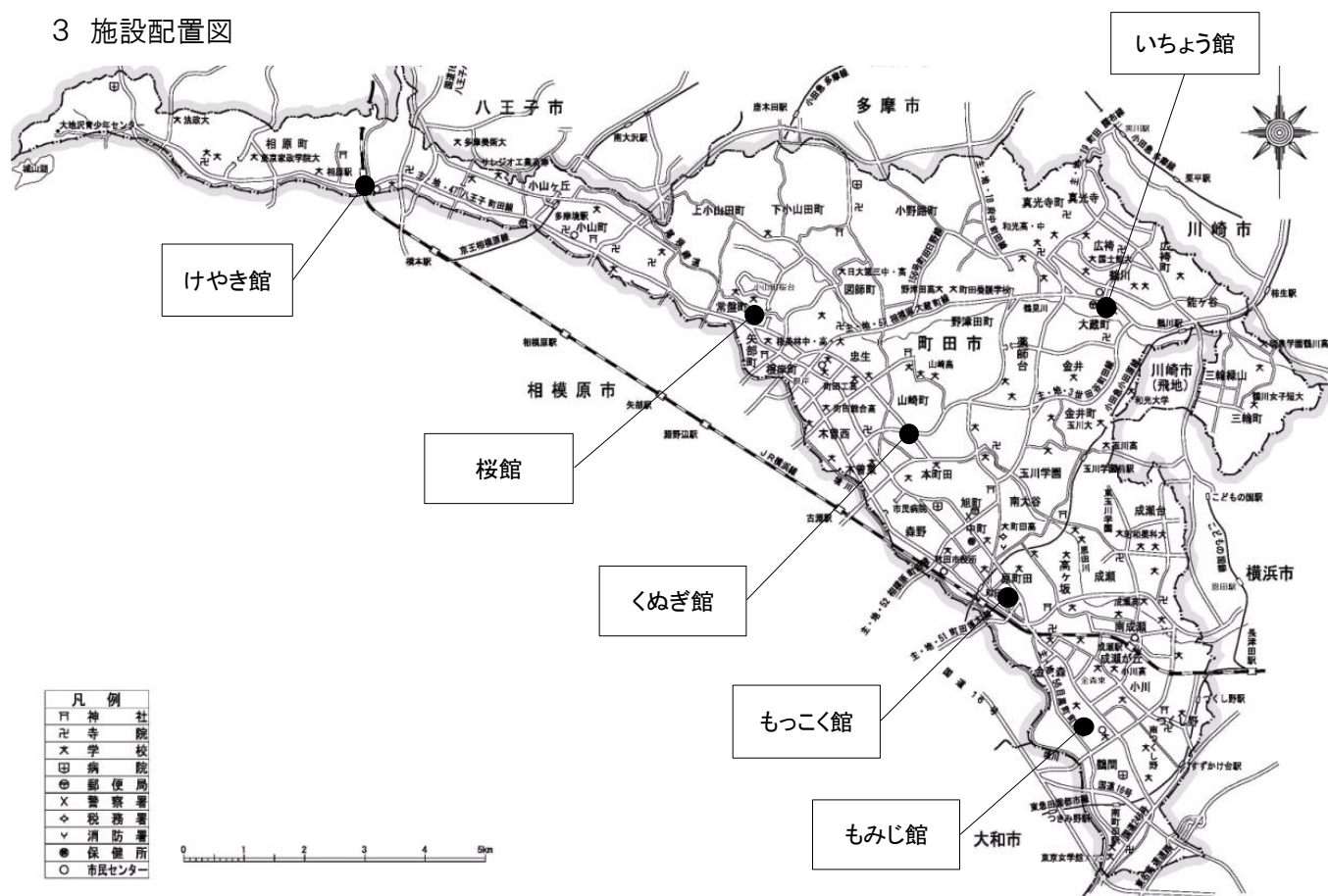
施設名称	もっこく館	くぬぎ館	けやき館	桜館
建物減価償却費(千円)	25,183	15,607	41,125	40,830
複合施設全体面積(㎡)	4,429	2,105	2,863	2,824
ふれあい館面積(㎡)	826	493	359	1,074
按分減価償却費(千円)	4,695	3,659	5,162	15,528

※2 桜館については、デイサービス(1F)等に係る減価償却費を面積按分で控除し、高齢者福祉センター(2F)分のみを算出しています。

2 成果指標の目標と実績

成果指標名	単位	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度目標	成果指標の定義
利用者満足度	%	目標	-	-	-	95.0%	利用者アンケートで、「満足」「やや満足」と答えた方の割合
		実績	-	-	96.4%	-	
「介護予防・健康づくりの取組み」参加人数	人	目標	-	-	-	208,000	年間を通じて「介護予防・健康づくりの取組み」に参加した人数
		実績	176,790	189,591	198,345	-	

3 施設配置図



4 2024年度決算で掲げた施設マネジメント改善のための取り組み

短期的な取り組み(1～2年)	中長期的な取り組み(3～5年)
◆「介護予防・健康づくり」に関連した取組を実施します。 ◆ふれあい館で実施している体力測定を活用して健康相談を行うことで、利用者の体調面の安全管理につなげていきます。	◆「介護予防・健康づくりの取り組み」「より多くの高齢者の利用につながる取り組み」「特に単身高齢者にとっての外出の機会となる取り組み」を実施します。 ◆ふれあい館で実施する介護予防・健康づくりのうち、好事例について高齢者支援センターを通じて市内の各地域に展開していきます。

5 2025年度の取り組み状況

・ふれあい館の現状把握のため、市内6カ所の各ふれあい館において「利用者アンケート」を実施しました。 ・ふれあい館における各種講座や講習会、同好会、体操、体力測定、行事といった多様な活動を実施している中で、利用者満足度は全館で90%を超える高い水準となりました。 ・「介護予防・健康づくりの取り組み」について、全館で8,772回実施し、参加延人数は198,345人となりました。

6 事業の成果の年次推移

利用者満足度

施設名称	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
もみじ館	-	-	-	-	94.2%
いちよう館	-	-	-	-	95.2%
もっこく館	-	-	-	-	93.6%
くぬぎ館	-	-	-	-	96.9%
けやき館	-	-	-	-	98.9%
桜館	-	-	-	-	99.8%

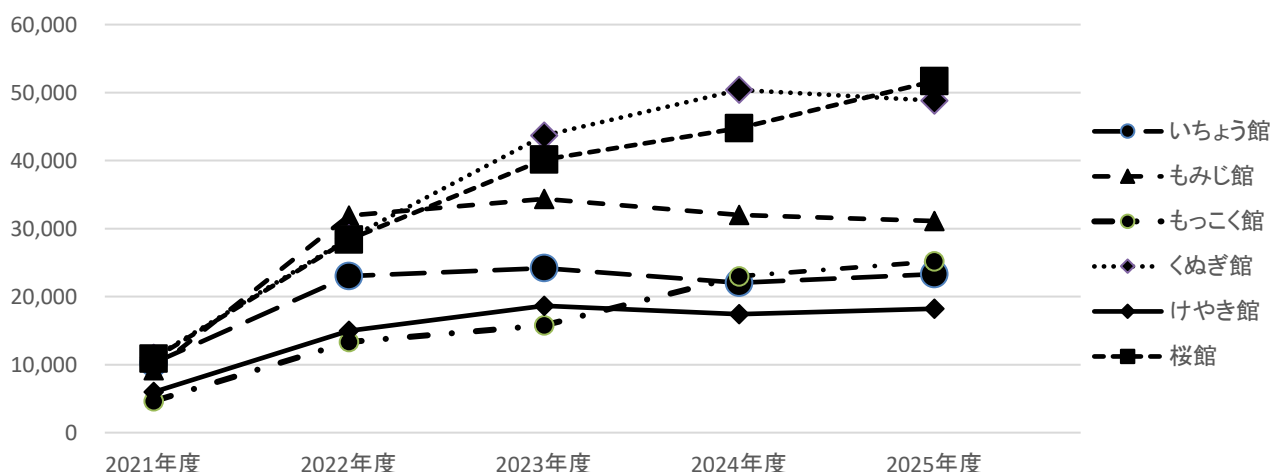
「介護予防・健康づくりの取り組み」参加人数 (単位:人)

施設名称	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	計
もみじ館	9,195	31,898	34,364	31,999	31,100	138,556
いちよう館	10,236	23,036	24,184	22,019	23,326	102,801
もっこく館	4,628	13,313	15,753	22,996	25,164	81,854
くぬぎ館	11,028	28,564	43,695	50,393	48,822	182,502
けやき館	5,965	14,960	18,649	17,434	18,238	75,246
桜館	10,880	28,405	40,145	44,750	51,695	175,875
計	51,932	140,176	176,790	189,591	198,345	756,834

【参考】各施設利用者数 (単位:人)

施設名称	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	計
もみじ館	26,102	24,832	22,582	19,615	6,599	6,137	17,342	18,175	18,820	19,716	179,920
いちよう館	34,664	34,050	33,414	22,328	6,631	7,208	16,105	15,420	13,737	14,127	197,684
もっこく館	32,314	33,968	32,670	29,578	5,727	3,797	11,422	11,318	12,451	14,173	187,418
くぬぎ館	55,124	53,981	52,967	44,761	8,319	8,570	20,092	23,722	26,908	27,192	321,636
けやき館	16,992	7,204	14,023	12,922	3,809	4,023	10,540	12,792	12,890	13,847	109,042
桜館	31,685	19,751	29,054	25,769	7,063	7,142	18,319	21,797	21,682	25,113	207,375
計	196,881	173,786	184,710	154,973	38,148	36,877	93,820	103,224	106,488	114,168	1,203,075

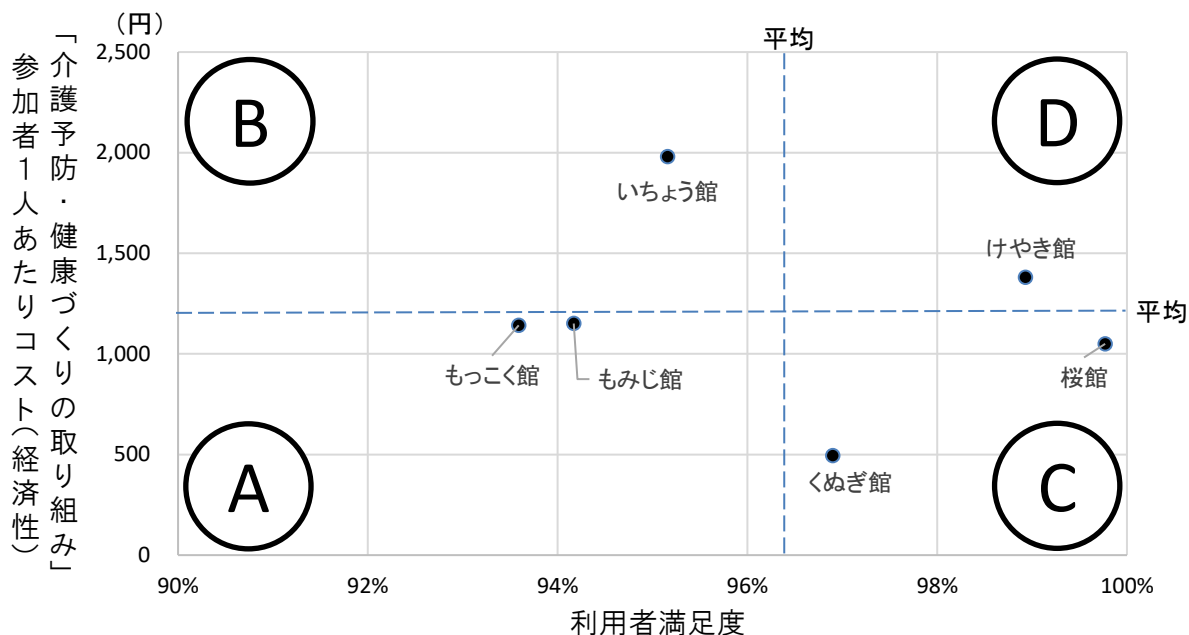
(人) 「介護予防・健康づくりの取り組み」参加人数の推移



7 事業の成果の年次推移の分析

- ・2025年度から実施を始めた利用者アンケートより、「利用者満足度」は全館平均で96.4%という高い満足度を獲得していることが分かります。
- ・「介護予防・健康づくりの取り組み」参加人数について、2021年度は新型コロナウイルスの拡大に伴う施設の休館や外出控えがありましたが、2022年度以降は増加傾向にあります。
- ・利用者数についても、2022年度以降は増加傾向にありますが、直近10ヶ年で最多である2016年度と比較すると、2025年度の利用者数は約60%となっています。

8 経済性・利用者満足度を軸にした分析グラフ



9 分析欄

- ・けやき館、桜館は中程度のコストながら、高い満足度を獲得しています。
- ・くぬぎ館は「介護予防・健康づくりの取り組み」参加人数が多いことにより低コストであり、加えて高い満足度を獲得しています。
- ・いちよう館は、賞与・退職手当引当金繰入額等により、コストが高くなっています。

10 分析を踏まえた事業の課題

「介護予防・健康づくりの取り組み」参加人数の増加や、更なる利用者満足度向上のため、各館の利用者ニーズを把握する必要があります。

11 施設マネジメント改善のための今後の取り組み

短期的な取り組み(1～2年)	中長期的な取り組み(3～5年)
◆アンケートや日頃の利用者への聞き取りなどをもとに、利用者のニーズを把握します。 ◆「介護予防・健康づくり」に関連した取組みを実施します。	◆利用者のニーズをもとに、イベント・講座などを最適な形で実施していきます。 ◆必要な修繕等を行い、利用者に安心して施設を利用していただけるように施設の維持管理を行います。

